

決 算 公 告

第 14 期（ 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日まで）

t a n e C R E A T I V E 株式会社

貸借対照表

(2026 年 5 月 31 日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	138,579	流動負債	122,232
現金及び預金	56,697	買掛金	9,302
売掛金	65,377	短期借入金	32,000
仕掛品	156	1年内返済予定の長期借入金	7,152
前払費用	9,809	未払金	14,177
その他	6,538	未払費用	10,786
		未払法人税等	631
		未払消費税等	7,357
固定資産	115,026	前受金	2,397
有形固定資産	32,868	預り金	2,353
建物	16,778	賞与引当金	1,330
構築物	563	製品保証引当金	240
車両運搬具	218	固定負債	34,504
工具、器具及び備品	1,164	長期借入金	34,504
土地	14,143	負債合計	122,232
無形固定資産	19,954	(純資産の部)	
ソフトウェア	605	株主資本	131,374
ソフトウェア仮勘定	19,349	資本金	30,000
		資本剰余金	67,109
投資その他の資産	62,203	その他資本剰余金	67,109
関係会社株式	9,929	利益剰余金	36,444
関係会社長期貸付金	40,000	利益準備金	5,000
長期前払費用	143	その他利益剰余金	31,444
繰延税金資産	9,361	繰越利益剰余金	31,444
その他	2,767	自己株式	△2,179
		純資産合計	131,374
資産合計	253,606	負債純資産合計	253,606

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	22年
構築物	7～15年
車両運搬具	5年
工具器具及び備品	4年

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

製品保証引当金

製品納入後の補修費用の支出に備えるため、過去の実績率及び個別の発生見込額を基礎とした見積額を計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

当社は、セキュアなWeb制作・保守事業を行っております。

当社が行う事業の契約形態には、請負契約、準委任契約があります。

①請負契約による受託開発

請負契約における受託開発取引の主な履行義務は、Web サイト制作、Web システム開発、CMS・サーバー構築業務となります。これらは作業の進捗に伴い顧客に成果が移転するため、履行義務の進捗度を見積り、当該進捗度に基づき一定の期間にわたり収益を認識しております。進捗度の測定は、予想される見積総原価に対する、実際の発生原価の割合（インプット法）に基づいて行っております。

なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

②準委任契約

準委任契約の主な履行義務は、Web サイト・CMS・サーバーのセキュリティ保守管理業務となります。これらは契約期間にわたり概ね一定の業務を提供するため、時間の経過に応じて履行義務が充足されると判断しており、役務を提供する期間にわたり顧客との契約において約束された金額を収益として計上しております。

2. 追加情報

2026 年 3 月 25 日開催の臨時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されましたことを受けまして、当事業年度より決算期を 3 月 31 日から 5 月 31 日に変更しました。したがって、当事業年度は 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までの 14 か月間となっております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	11,821 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権、債務	
短期金銭債権	416 千円
短期金銭債務	1,155 千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金	461千円
未払社会保険料	69千円
繰越欠損金	8,747千円
製品保証引当金	83千円
敷金	161千円
繰延税金資産小計	9,522千円
評価性引当額	△161千円

繰延税金資産合計

9,361千円

5. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	議決権等の 所有割合	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	株式会社 モスデザイン 研究所	所有 直接 100%	資金の貸付 役員の兼任	資金の貸付	40,000	関係会社短期貸付金	40,000
				利息の受取	224	—	—

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の貸付については、市場金利を勘案して決定しております。なお、担保は受け入れておりません。

6. 1株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	475 円 13 銭
一株当たり当期純損失	46 円 12 銭

7. 重要な後発事象に関する注記

(多額な資金の借入)

当社は、2026年6月15日開催の取締役会において、設備資金として、株式会社第四北越銀行からの資金の借入を決議し、当該決議に基づき、以下のとおり資金の借入を実行いたしました。なお、当借入は、セキュリティベース河原田本町改修工事を対象とした補助金の交付要件となっており、当該工事の費用支払に充てました。

借入先	株式会社第四北越銀行
借入金額	30,000千円
借入金利	変動金利
借入実行日	2026年7月15日
借入期間	7年
担保等の有無	無担保・無保証

当期純損益金額

当期純損失

13,928 千円